

勸学寮論議会 論題提要

信心正因

【題意】

浄土真宗の法義は往生成仏の因が信心一つにきわまるということである。信心が往生成仏の正因であり、称名は信相続の行であってまさしき因は信心であることを明確にする。

【出拠】

『正像末和讃』
『教行信証』『信文類』
『親鸞聖人御消息』
『口伝鈔』
『御文章』

【釈名】

「信心」「正因」

【義相】

- 一、第十八願文及び成就文によって信心正因の義意をうかがう
- 二、信心の徳義について正因の義意をうかがう
- 三、名号正定業、称名正定業と信心正因との関係
- 四、信心正因の所顕

隠彰顕密

【題意】

宗祖は「化身土文類」に、『大経』の三心と『観経』の三心の一異について、「顕の義によれば異なり、彰の義によれば一なり」と示された。さらに『小経』にも『観経』に准知し顕彰隠密の義ありとして、『大・観』二経の三心と『小経』の一心の関係を明らかにされた。

これら二経に「顕彰隠密の義あり」といわれた義意をうかがい、宗祖独自の『観経』『小経』の方便観、三経における信心の相違を明らかにする。

【出拠】

『教行信証』『化身土文類』
『浄土文類聚鈔』
『唯信鈔文意』
『愚禿鈔』下卷

【釈名】

「隠」「彰」「顕」「密」の釈名
「隠」「彰」「顕」「密」の義目

【義相】

一、隠顕釈の所依（依りどころ）

- 1 「顕彰隠密」の文の拠り処
- 2 『観経』自体の所依
- 3 義の拠り処

二、隠顕釈の義相

- 1 隠顕釈の文意
 - 2 『観経』隠顕の設由
- 三、准知隠顕

- 1 『小経』の隠顕
 - 2 『観経』の何処に准知するのか
 - 3 『小経』の隠顕釈について
 - 4 『小経』隠顕の設由
- 四、三経の隠顕

三願転入

【題意】

入信の過程について宗祖は『本典』にこれを三願転入の文を以て示され、仏恩を慶喜された。しかし、この入信過程については種々問題とする点がある。宗祖自らの入信過程の事実であったか等、それらを論究しながら宗祖の三願転入の釈を示された意趣を明らかにする。

【出拠】

『教行信証』『化身土文類』

【釈名】

「三願」「転入」

【義相】

- 一、三願の見方
- 二、三願を誓われた仏意
- 三、三願転入釈の文の解釈
- 四、宗祖における三願転入の事実の有無
- 五、三願転入釈の所顕